

伊勢湾における溶存酸素濃度・栄養塩動態

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 筧, 茂穂 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012401

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



伊勢湾における溶存酸素濃度・栄養塩動態

混合域海洋環境部

研究の背景・目的

1. 溶存酸素濃度等の季節変化は生態系モデルで再現されつつあるが、短い時間スケールの外海域の変動の影響は未解明
2. 窒素・リンの形態変化量を見積もり、窒素・リンの時間変化のメカニズムを明らかにする

研究成果

1. 2.8ヶ月に一度の頻度で外海水が湾内に進出し、湾内下層の溶存酸素濃度が増加するが、すみやかに消費され約1.1ヶ月で湾内下層は再び貧酸素化する
2. 窒素の時間変化は形態変化であるのに対して、リンの時間変化量の半分が形態変化であることから、河川由来の窒素とリンの海域での消費速度は異なることが示唆

波及効果

1. 夏季貧酸素水塊の消長や栄養塩変動における外海水進入の影響が評価される
2. 沿岸生態系の保全管理方策の検討に寄与

